

施策 No.	4	施策名	生涯学習の推進
主管課名	生涯学習課	電話番号	0285-82-7150
関係課名	文化課、スポーツ振興課、自然教育センター、科学教育センター、プロジェクト推進課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和6年度見込
人口	人	78,874	78,144	77,635	77,578	76,498	

施策の目標	市民が生涯にわたり自主的・積極的に学習に取り組み、市民一人一人が学んだことを社会生活に活かす等、生きがいを持って心豊かに生活できるよう、支援の充実を図ります。								
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・生涯学習に関する講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課、図書館、文化課、スポーツ振興課、自然教育センター、科学教育センター、で行った講座数の合計とする。 ・出前講座数及び参加延べ人数は、生涯学習課での集計結果とする。 ・図書館利用者数及び貸出冊数は、真岡市図書館、二宮図書館及び西分館図書室の集計結果とする。 ・まちのステーション整備は「真岡市新庁舎周辺整備基本計画」の整備スケジュールと事業の進捗状況とする。								
成果指標名		単位	平成30年度 基準値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 目標値
市民講座数	目標値	講座	203	206	210	213	217	220	220
	実績値			99	138	163	190	190	
市民講座参加延べ人数	目標値	人	14,381	14,505	14,629	14,752	14,876	15,000	15,000
	実績値			3,625	8,153	8,190	12,074	11,676	
出前講座数(実施講座数)	目標値	講座	173	178	184	189	195	200	200
	実績値			48	55	83	125	184	
出前講座参加延べ人数	目標値	人	4,879	4,903	4,927	4,952	4,976	5,000	5,000
	実績値			946	1,234	1,754	2,813	5,008	
まちのステーション整備	目標値	—	基本構想策定	事業者募集	契約・設計	設計・建築工事	建設工事	オープン	事業化
	実績値			事業者募集等	契約・設計	設計・建設工事	建設工事	オープン	
図書館利用者数（3施設）	目標値	人	241856	243,485	245,114	246,742	248,371	250,000	250,000
	実績値			133,910	144,649	161,394	152,937	175,597	
図書館貸出冊数	目標値	冊	287,152	289,722	292,291	294,861	297,430	300,000	300,000
	実績値			236,635	243,033	254,266	234,888	185,612	

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	・市民は、生涯にわたり自主的・積極的に生涯学習に取り組む。 ・行政は、市民や自主団体の生涯学習活動を支援するため、学習機会や学習の場の提供、学習環境の整備に努める。
-------------------------	---

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

◎市民講座の講座数及び参加延べ人数について

【要因分析】

・市民講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から講座数、参加人数共に大幅に減少した。その後、徐々に回復し、令和6年度には講座数が190、参加延べ人数は11,676人となり、目標値に達しなかったが、着実に回復傾向がみられる。

・講座メニューについては、生涯学習課は市民講座、図書館は映写会やイベントなどの自主事業、文化課は歴史教室、クラシック音楽、美術館ギャラリートーク、スポーツ振興課はスポーツ教室、自然教育センターは高齢者研修を実施しているが、特に参加人数が多かったものとして、図書館の映写会やイベントなどの自主事業が6,044人、自然教育センターの高齢者研修が1,711人であった。

【課題】

- ・講座メニューについては、常に改善し、市民のニーズに合った内容のものを提供していく必要がある。
- ・講座によっては、オンラインフォームを導入していないものがある。
- ・講座の参加人数の増加を目指して、さらなる周知が必要である。

◎出前講座の講座数及び参加延べ人数について

【要因分析】

・出前講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から講座数、参加人数共に大幅に減少した。その後、徐々に回復し、令和6年度には講座数184、参加延べ人数5,008人となり、目標値を超える結果となったことから、市民にも浸透してきたと思われる。出前講座は、地域及び市民が主催の事業であり、今後ますます需要が増えることを期待したい。

【課題】

- ・コロナ禍による生活意識の変容により、地域及び市民が主催の事業については、引き続き活動できる環境を支援し、今後も粘り強く対応していく必要がある。
- ・オンラインフォームを活用した手続きを導入したが、講座内容を含めて広く周知していく必要がある。
- ・講座のメニューについて、常に改善し、市民のニーズに合った内容のものを提供していく必要がある。

◎まちのステーション整備について

【要因分析】

- ・当初の計画通り、複合交流拠点施設monacaの建設工事が完了し、令和7年1月25日に開館した。

【課題】

- ・指定管理者と連携し、更なるサービス向上と地域の文化とコミュニティの拠点となるような施設の充実化を図る。

◎図書館の利用者数と貸出冊数について

【要因分析】

・図書館の利用については、新型コロナウイルスの影響は、他の社会教育施設と比較した場合、減少幅は軽微であり、令和6年度には複合交流拠点施設monacaが開館したことにより施設利用者数17万5,597人と増加したが、monaca開館に伴う旧図書館の休館（R6.10月～R7.1月24日）及び西分館の図書室閉館（R6.10月）により延べ貸出冊数は18万5,612冊と昨年度より減少した。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

◎市民講座の講座数及び参加延べ人数について

- ・講座メニューについては、講師の確保を含め、参加者アンケートや他自治体の事例を研究するなどにより、時代と市民のニーズに合ったメニューを提供していく。
- ・オンラインフォームの導入を行っていないものについては、導入を検討していく。
- ・講座の周知については、ウィークリーニュースもおかやホームページ、SNSなどを活用して、効果的な広報を実施していく。
- ・活動のねらいとして、消費的な学習（学んで楽しかったという感想だけで終わり）ではなく、具体的な行動変容や成果活用の取組など、今後の学習と実践（取組）をつなぐ働きかけ、仕掛けを設けていく。

◎出前講座の講座数及び参加延べ人数について

- ・地域及び市民が主催事業における出前講座の活用について、引き続き、誰もが利用しやすい制度となるよう検討を続けていく。
- ・出前講座の周知については、ウィークリーニュースもおかやホームページ、SNSなどを活用して、効果的な広報を実施していく。
- ・講座のメニューについて、市民の多様なニーズに応えた新しいメニューを提供していくため、市民による多様な活動を目指す講師登録を促していく。

◎図書館の利用者数と貸出冊数について

- ・二宮図書館は、二宮地区の拠点図書館として、複合交流拠点施設と連携して、更なるサービスの向上を目指す。
- ・複合交流拠点施設monacaを活用し、利用者数を増やしていくため、魅力ある講座やイベントを企画し、より多くの市民に図書館に来館してもらえるよう創意工夫を行っていく。
- ・図書の貸出を増やしていくため、指定管理者と連携して、図書のディスプレイや特設コーナー及び関連イベントを開催し、図書の貸出が増えるような取組を行っていく。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

[illegible]